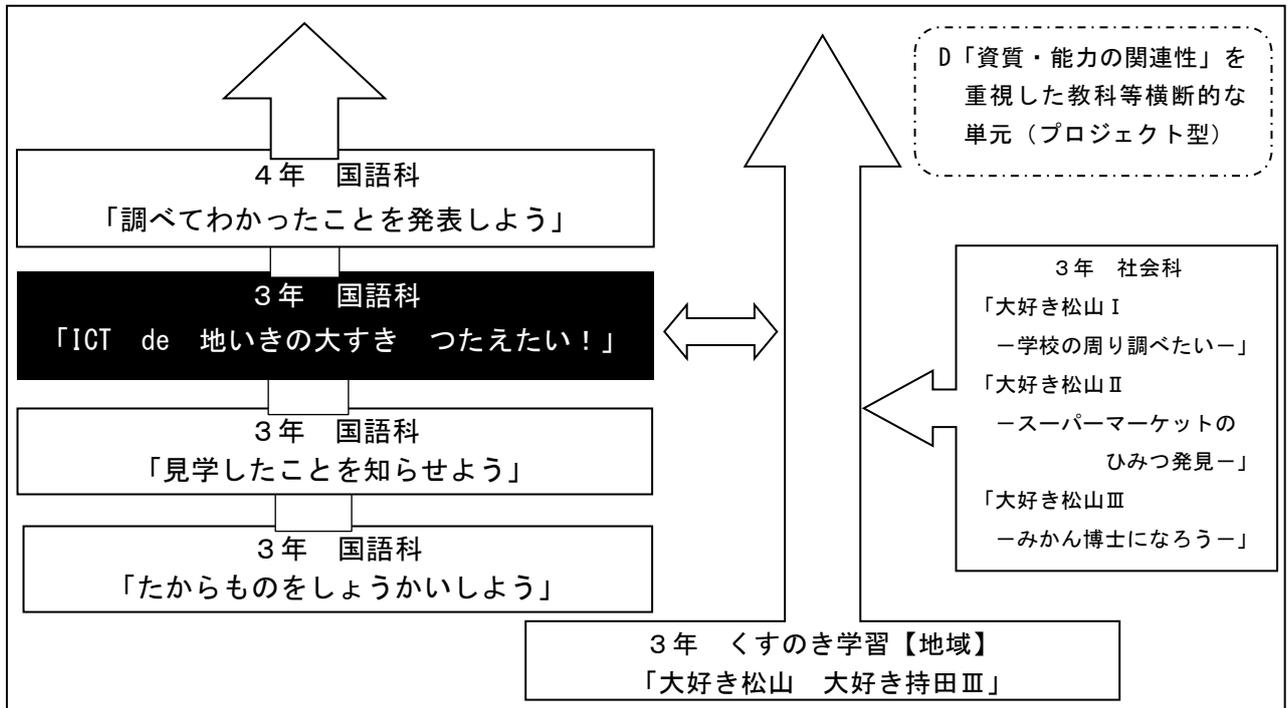


第3学年月組 国語科（+くすのき学習【地域】・社会科）
「ICT de 地いきの大すき つたえたい！」

指導者 岩城 聡恵

1 単元全体構想図



2 単元構想について

本学級の子どもは、話すことが好きである。特に、見たり聞いたりする中で、わくわくした事柄については、目を輝かせて進んで話そうとする。友達とかかわり、意見を述べ合うことにも意欲的である。しかし、1学期には話したいという思いばかりが先行し、言うことで満足している子どもが少なくなかった。そのため、2学期には相手に伝わるように表現することを意識して、見学したことを報告する学習を行った。この学習により、相手意識を持って話すようになるとともに、同学年の友達に限らず、様々な人にも伝えたいという思いも芽生え始めた。興味・関心が多岐にわたり、伝えたい事柄が増えていくだろう子どもたちが、更に相手意識を持ってよりよく伝えられるようになることを願っている。

そこで、話すことの技能を高めるために、国語科とくすのき学習【地域】、社会科との資質・能力の関連性を重視した教科等横断的な単元を構想した。本単元で育てたい資質・能力は、「相手に応じた話し方の技能」「友達と意見を共有しながら、相手に伝わるように話の構成を考える力」「言葉が持つよさに気付くとともに、相手に伝わるように自分の思いを話そうとする態度」である。くすのき学習【地域】における、観光客に地域のおすすめ（もの・こと、人など）を紹介するという言語活動を通して、これらの資質や能力を育てていく。

地域のおすすめには、これまでに社会科で学んだ地域のよさを伝えたいという思いが詰まっている。そこで、「出会い」の場面でその思いをつなぎ、聞き手を意識した紹介の準備へと向かわせることで、主体的に学習に取り組むことができるようにする。「追究」の場面では、友達と意見を交流しながら紹介の仕方を工夫していく。また、観光ガイドの方とかかわり、ガイドの様子を見たりポイントを聞いたりして、相手に伝わる話し方についての知識や技能を習得させる。紹介の練習においては、学んだことを実際に生かす中で、相手に伝わる話し方の技能を高める。「振り返り」の場面では、できるようになったことを自覚させ、学習後も相手に伝わるように話したいという意欲を高めていきたい。

3 単元のねらい

- 相手に応じた話し方に気を付けて話し、語彙を豊かにする。
- 友達と意見を伝え合いながら、相手に伝わるような紹介の仕方を工夫する。
- 言葉が持つよさに気付くとともに、相手に伝わるように自分の思いを話そうとする。

4 単元の展開（全7時間）

場面	子どもの課題意識と主な学習活動	評価の規準	時間
出合い	<p>地域のおすすめを観光客に伝わるように紹介しよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 地域のおすすめ（もの・こと、人など）が観光客に伝わるようにするために必要なことを考え、学習計画を立てる。 ○ 個の学習目標を立てる。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 地域のおすすめを相手に伝わるように紹介したいという意欲が高まっている。 ● これまでに自分ができるようになったことを見詰め、自分なりの学習目標を立てている。 	1
追究	<p>地域のおすすめを伝える準備をしよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 地域のおすすめの中から伝えたいことを決め、話の構成を考える。 ○ 観光客に伝わるにはどうすればよいかを考えながら、紹介資料の言葉を再検討したり、紹介の練習をしたりする。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 地域のおすすめについて、それらの様子や特徴を表す語句を用いて紹介している。 ● 相手に伝わるような紹介の工夫について考えたことを友達と伝え合っている。 ● 言葉の抑揚や強弱、間の取り方、資料の提示の仕方に注意して話している。 ● 言葉の持つよさに気付き、それらを生かして紹介資料の言葉を再検討したり、紹介の練習をしたりしている。 	5 本時 その4
振り返り	<p>活動を振り返ろう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 地域のおすすめを観光客に紹介して、相手に伝わるように話すことについて考えたことを話し合う。 ○ 学習活動全体を振り返る。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 言葉の持つよさや相手に応じた話し方について分かったことを発表している。 ● 学習活動全体を通して感じたことを伝え合っている。 ● これからも自分の思いを相手に伝わるように話したいという思いを持っている。 	1

5 単元における指導の工夫

場面	三つの場面ごとの子どもと「つなぐ」指導の工夫（学習材・他者・自分自身）
出合い	<ul style="list-style-type: none"> ・ くすのき学習【地域】での、地域のおすすめ（もの・こと、人など）を観光客に紹介するという活動と関連付け、相手に伝わるように紹介したいという意欲を高める。（学） ・ これまでの学習を通してできるようになったことを想起させることで、課題を見付け、一人一人に応じた学習目標を設定できるようにする。（自）
追究	<ul style="list-style-type: none"> ・ グループで紹介資料を作成したり紹介の練習を行ったりする場を保障することで、話の中心や場面を意識した紹介の仕方を協働して考えることができるようにする。（学・他） ・ 動画や写真を提示しながら紹介することができるように、タブレット PC などの ICT 機器を活用する。（学・他） ・ 毎時間、活動を振り返る場を設けることで、よりよい紹介の仕方を見付けられるようにする。（自）
振り返り	<ul style="list-style-type: none"> ・ くすのき学習【地域】で地域のおすすめを観光客に紹介する活動を通して、伝え方の工夫について話し合い、できるようになったことを自覚できるようにする。（自） ・ 単元全体を振り返る場を設け、伝える楽しさに気付き、今後も相手に伝わるように話したいという思いを高める。（自）

6 評価の具体的な方法

(1) 「出会い」の場面

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
視点			地域のおすすめ（もの・こと、人など）を相手に伝わるように紹介したいという意欲が高まっているか。
方法			様態 学習目標
目指す姿			地域のおすすめを伝えることに興味を持ち、相手に伝わるように紹介しようという思いを持っている。 ・ 観光客に分かりやすく伝えたい。 ・ 友達と紹介の資料を工夫したい。 自分の学習目標を立てている。 ・ 自分のおすすめポイントが分かってもらえるように話そう。 ・ 分かりやすい言葉を選んで話そう。

(2) 「追究」の場面

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
視点	相手に応じた話し方をしたり、地域のおすすめについて、それらの様子や特徴を表す語句を用いて表現したりしているか。	相手に伝わるような紹介の工夫について考えたことを友達と伝え合っているか。	相手に伝わる紹介について考え、表現しようとしているか。
方法	発言 紹介資料	発言 様態	自己評価 様態
目指す姿	地域のおすすめについてそれらの様子や特徴を捉えた言葉を用いている。 ・ 「〇〇のように」と例えて話す と相手に伝わった。 ・ 色や形、数を詳しく伝えるようにした。 相手や伝えたい内容に応じた話し方をしている。 ・ 言葉を強調して、一番伝えたいことを話した。 ・ 相手を見て、ゆっくり話すと分かりやすいと言われた。	進んで自分の考えを伝えている。 ・ おすすめするポイントを短く伝えてから、くわしく話すよさそうだね。 ・ 様子を表す言葉を工夫するともっとよく伝わりそうだよ。 ・ 「こうしたらよく分かるよ」と考えを伝えることができた。友達と考えたら、より分かりやすい表現になったと思う。	できるようになったことや自分の課題を記述し、次時への意欲を持っている。 ・ 聞きやすい速さで話せた。次は、もっと相手を見て話したい。 ・ 特徴を表す言葉をいくつか考えてみたら、よい言葉が見つかった。 ・ 友達のアドバイスを基に、もっといい紹介にしたい。

(3) 「振り返り」の場面

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
視点	言葉の持つよさや相手に応じた話し方について、分かったことを発表しているか。	学習活動全体を通して感じたことを伝え合っているか。	相手を意識して伝えることのよさが分かり、これからも伝わるように話したいという思いを持っているか。
方法	様態 記述	発言 記述	自己評価 様態
目指す姿	言葉のよさや話し方について分かったこと発表している。 ・ アドバイスをもらったところの言葉を換えるとよくなった。 ・ 話す速さや間の取り方にも気を付けて発表できた。 ・ 分かったと言われてうれしい。	言葉を適切に使おうとするよさや、相手に分かってもらえることのよさ、よりよい表現を考えようとする楽しさを伝え合っている。 ・ 友達にアドバイスをもらったから、分かりやすく伝えることができたと思う。一緒に学習できてよかった。	伝わるように話すよさを実感したり、できるようになったことを自覚したりしている。 ・ 学習前と比べて分かりやすく伝えることに自信が湧いた。 ・ 伝えることが楽しかった。これからも言葉の使い方を考えて伝えたい。

7 本時の授業（5／7）

(1) 日時 令和2年2月1日（土）9:20～10:05

(2) 場所 3年月組教室

(3) ねらい

- 話の中心や話す場面を意識して、友達と意見を伝え合いながら紹介の仕方を工夫する。
- 相手に伝わるように、内容や言葉を選んで紹介する。

(4) 準備物 発表メモ、タブレットPC、地図、ミッションカード、振り返りカード

(5) 展開

学習活動	予想される子どもの意識の流れ	指導（○）と評価（●）
1 学習の目標を設定する。	<p style="text-align: center;">観光客に伝わるように紹介しよう。</p> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <ul style="list-style-type: none"> ・分かりやすく話したいな。 ・一番言いたいことが伝わるかな。 ・友達にアドバイスをもらいたいな。 </div>	<p>○ 前時までの活動を振り返り、本時で自分が目標とすることを考えさせ、学習への意欲を高める。</p>
2 グループで、地域のおすすめを紹介し、感想などを交流する。	<p style="text-align: center;">観光客の様子に合わせて紹介しよう。</p> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <ul style="list-style-type: none"> ・練習を生かして、分かりやすく話そう。 ・短い時間しかないから、一番伝えたいことを話そう。 ・〇〇についてもっと詳しく教えてと言われたから、歴史について話したよ。 ・この言葉で特徴がよく分かったよ。 ・この言葉は、別の言葉に換えるともっと言いたいことが伝わると思うよ。 ・話すだけでなく、タブレットPCに言葉を入れるといいね。 </div>	<p>○ 場に応じて話ができるように、観光客の状況を意図的に設定し、その状況に合わせて紹介を行わせる。</p> <p>○ 話す視点や聞く視点を持たせて活動させる。</p> <p>○ 伝えたいことが伝わったかを確かめるために、紹介後、聞き手から感想や意見の他に、どんなことが分かったかも聞くようにさせる。</p>
3 友達の感想などを基に、紹介の仕方を見直す。	<p style="text-align: center;">どうしたらもっと観光客に伝わるかな。</p> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <ul style="list-style-type: none"> ・一文をもっと短くしよう。 ・この言葉を別の言葉で言い換えてみよう。 ・様子や特徴をもっと伝えるといいね。 ・〇〇さんの紹介が上手だね。まねしてみよう。 ・この言葉はタブレットPCに入れよう。 </div>	<p>○ 見直したところを発表メモに記録させることで、学びを自覚できるようにする。</p> <p>● 話の中心や話す場面を意識して、友達と意見を交流しながら紹介の仕方を工夫しているか。</p>
4 本時を振り返り、次時の学習の見通しを持つ。	<p style="text-align: center;">もっと紹介の練習をしてよりよく伝えたいな。</p> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <ul style="list-style-type: none"> ・みんなで考えたから楽しかった。 ・友達にアドバイスをもらったから、自信を持って紹介できそうだよ。 ・次は、話し方も練習して、もっと伝わるようにしたいな。 ・観光客に紹介するのが楽しみだな。 </div>	<p style="text-align: right;">[様態]</p> <p>● 相手に伝わるように、内容や言葉を選んで紹介しようとしているか。</p> <p style="text-align: right;">[振り返りカード・様態]</p> <p>○ 本時の活動の頑張りを称揚し、次時への意欲を高める。</p>